

令和7年度 看護学部過年度卒業生へのアンケート調査結果について

1. 趣旨

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成30年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって3つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、卒業後5年、10年の学生を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

2. 概要

調査対象 看護学部卒業生

第1期生 【令和3年3月卒業】 93名（卒業後5年目）

調査期間 令和7年8～9月

実施方法 インターネット（Google Form）を利用した Web アンケート

質問内容 ① 氏名、性別、年齢、お住まいの地方、卒業年度（〇期生）
② 現在の状況、勤労状況、勤務形態
③ 臨床研修を受けた都道府県、専門研修（後期研修）の選択科または選択予定科※医学部のみ
④ 専門医の取得状況 ※医学部のみ
⑤ 学位の取得状況、満足度 ※医学部のみ
⑥ 学位授与方針に対する卒業時の自己評価
⑦ 岩手医科大学での学びのキャリア選択への貢献度
⑧ 岩手医科大学のカリキュラムに対する満足度
⑨ 岩手医科大学での学びの地域医療への貢献度
⑩ 岩手医科大学への満足度
⑪ その他

3. 結果

【回収率】 看護学部 第1期生 第4期生 22.1%（17/77人（93人））

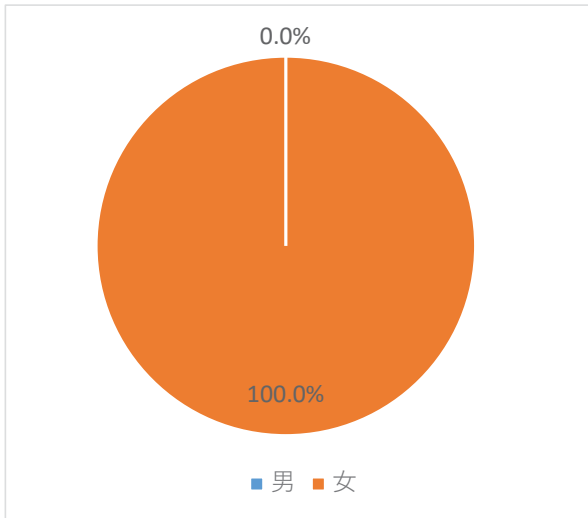
詳細は別紙の通り。

4. 総括

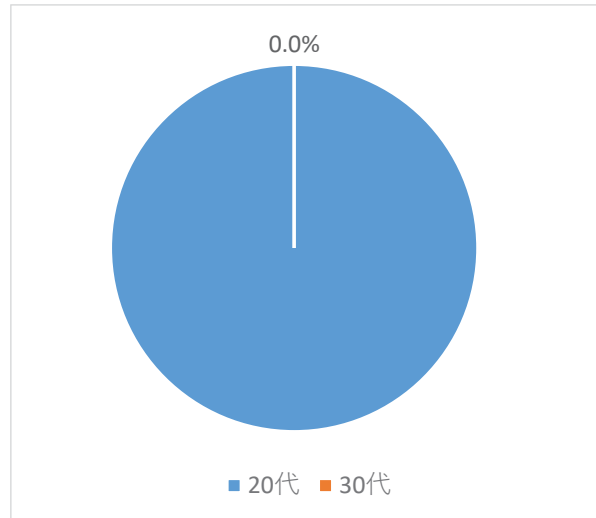
- ・第1期生の現在の状況について、看護師、保健師、助産師以外に、歯科事務やMR等の仕事に従事しており、勤務先は大学病院や医療法人の他、行政や企業など多岐にわたる。
- ・設問4 学修成果の達成では、「看護の基礎的能力」を中心に評価が高い項目が多く、教育効果が伺えるが、「災害時対応能力」「国際性」は評価が低い。
- ・設問5 カリキュラムへの満足度、設問6 地域医療への貢献度、設問7 大学への満足度のいずれについても評価が高く、学生の満足度の高さが伺える。

看護学部

性別



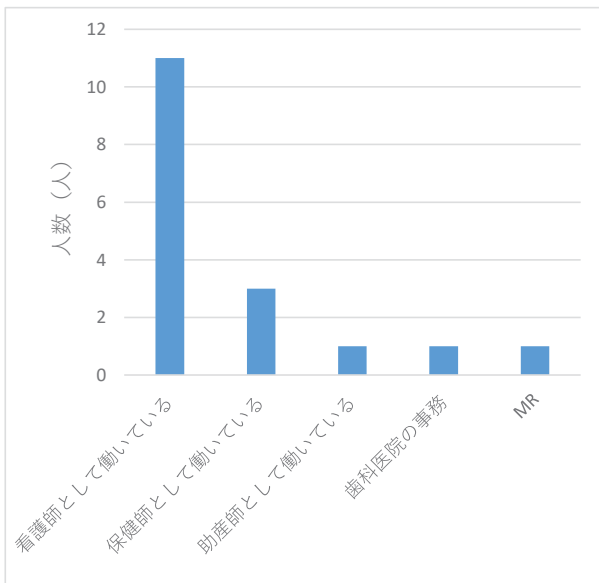
年齢



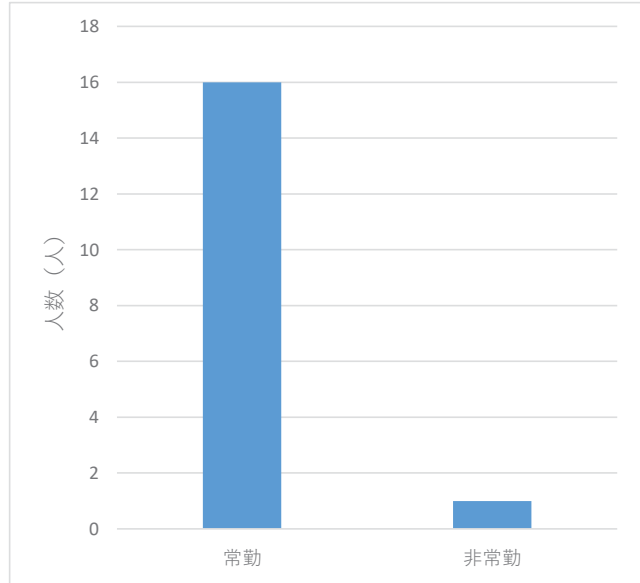
住まい



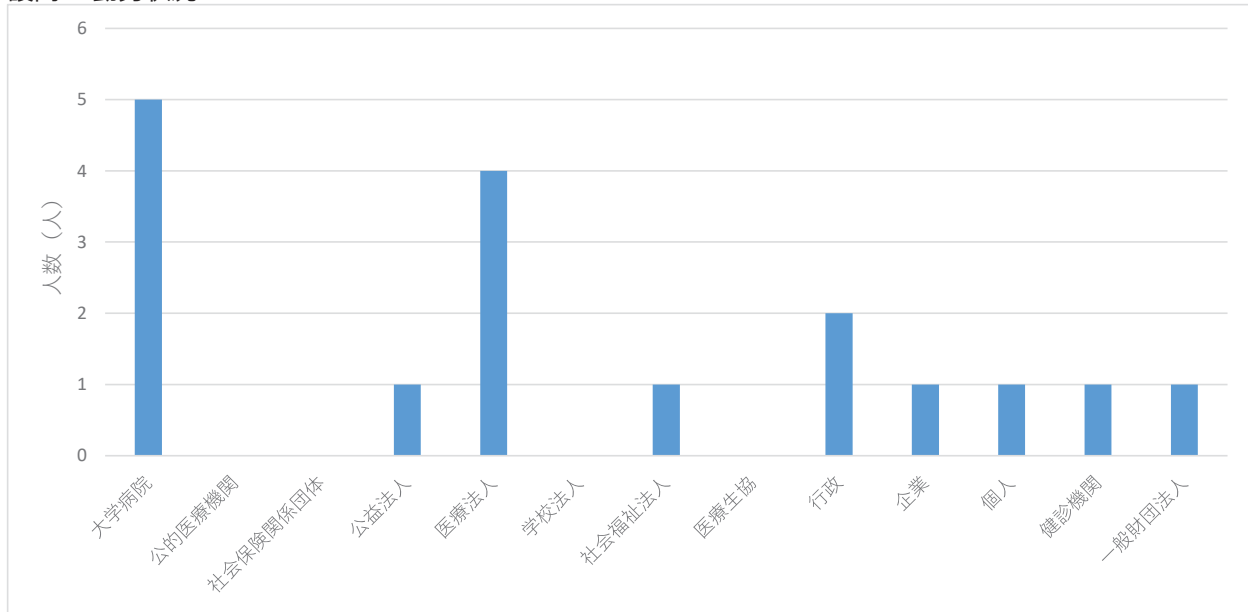
設問1 現在の状況



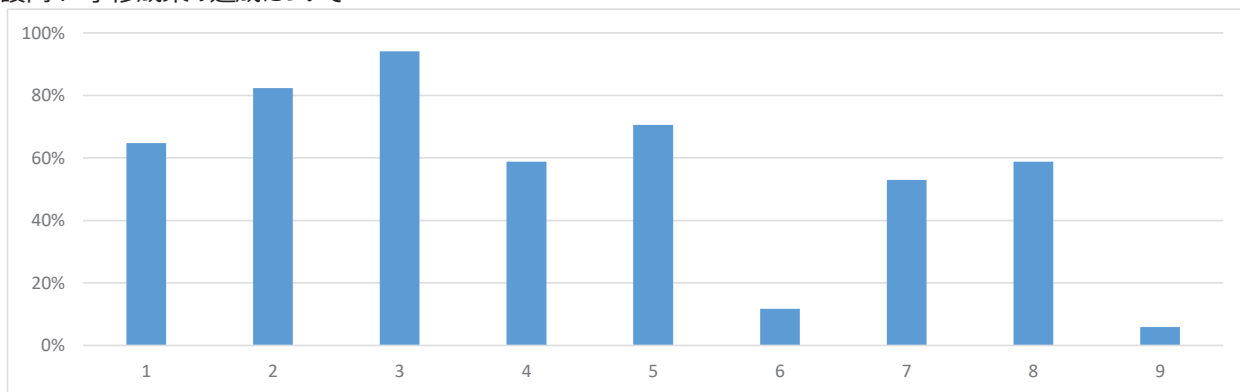
設問3 勤務形態



設問2 勤労状況

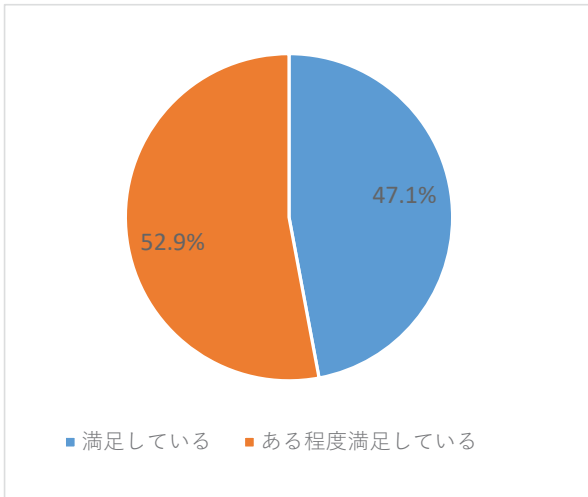


設問4 学修成果の達成について

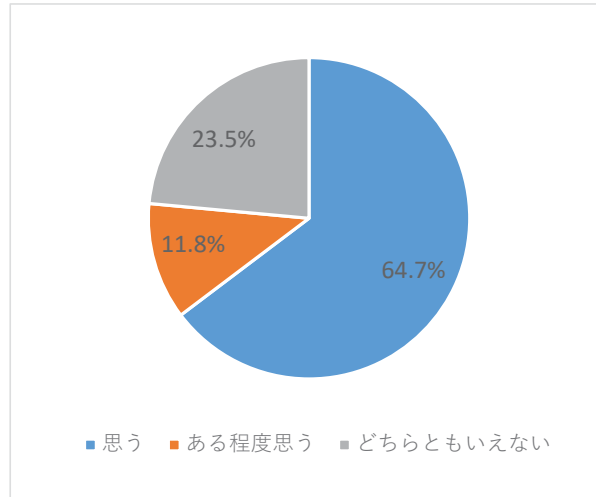


1. 医療人としての全人的人間性を持ち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2. 生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3. 看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4. 看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5. 患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6. 災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7. 保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身
8. コミュニティーにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の
9. 変動する国際社会にあって、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

設問5 カリキュラム満足度



設問6 岩手医科大学で学んだことは地域医療への貢献に寄与していると思いますか。



設問7 岩手医科大学を卒業して良かったですか。

